18　　分相応の暮らし 　　　　　　　　　　　　助動詞③　たり・り

おほかた、この所に住みはじめＡし時は、あからさまと思ひしかども、今すでに、五年を経たり。仮の庵も、ややふるさととなりて、軒に朽ち葉ふかく、土居に苔むせり。おのづから、ことの便りに都を聞けば、この山にこもりア居て後、やむごとなき人のかくれイ給へるもあまた聞こゆ。まして、その数ならぬたぐひ、尽くしてこれを知るべからＢず。たびたび炎上にほろびたる家、また、いくそばくぞ。ただ仮の庵のみのどけくしておそれなし。ほどウ狭しといへども、夜ふす床あり、昼居る座あり。一身をやどすに不足なし。寄居は、エ小さき貝を好む。これ、身知れるによりてＣなり。みさごは荒磯に居る。すなはち、人をオおそるるがゆゑなり。われまた、かくのごとし。身を知り、世を知れれば、願はず、わしらず、ただ静かなるを望みとし、憂へなきを楽しみとカす。

【本文チェック】

①　ア～カの用言の、活用の種類（動詞は活用の行も）・文中での活用形を書きなさい。

　ア（　　　　　活用　　　　形）　　イ（　　　　　活用　　　　形）

　ウ（　　　　　活用　　　　形）　　エ（　　　　　活用　　　　形）

　オ（　　　　　活用　　　　形）　　カ（　　　　　活用　　　　形）

②□Ａ～Ｃの助動詞の、文法的意味・文中での活用形を書きなさい。

　Ａ（　　　　　・　　　　　形）　　Ｂ（　　　　　・　　　　　形）

　Ｃ（　　　　　・　　　　　形）

③傍線部を現代語訳し、書きなさい。

　（　　　　　　　　　　　　　　　）

【語彙力 ✚】

問１　次の語句の読みを、現代仮名遣いで答えよ。

１　五年〔１〕（　　　　　　　）

２　庵〔２〕（　　　　　　　）

問２　次の語句の意味について、空欄を埋めよ。

１　おのづから〔２〕　　①（　　　　　　　　　）

　　　　　　　　　　　　②たまたま

　　　　　　　　　　　　③もしも

２　やむごとなし〔３〕　①捨てておけない

　　　　　　　　　　　　②（　　　　　　　　　）

　　　　　　　　　　　　③貴重だ

　　　　　　　　　　　　④並々でない

３　あまた〔３〕 （　　　　　　　　　　）

４　数ならず〔４〕（　　　　　　　　　　）

５　のどけし〔５〕（　　　　　　　　　　）

問３　次の傍線部の意味として最も適当なものを選べ。

１　あからさまにまかでたるほど、二日ばかりありてしも雪は降るものか。

（紫式部日記）

ア　明るい間に　　イ　明らかに

ウ　本格的に　　　エ　ほんの少しの間

　（　　　）

２　帰るとても、そこ所とき着くべき古里もなし、知れる人と言ひ寄るべき頼もしき人もおぼえず。（源氏物語）

　ア　自宅　　　　　　イ　馴染みのある場所

　ウ　生まれた土地　　エ　昔の都

　（　　　）

【文法力 ✚】

問４　次の活用表の空欄を埋めよ。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| り | たり | 基本形 |
|  |  | 未然形 |
|  |  | 連用形 |
|  |  | 終止形 |
|  |  | 連体形 |
|  |  | 已然形 |
|  |  | 命令形 |
|  |  | 意味 |

問５　次の傍線部の助動詞の、文法的意味と文中での活用形を答えよ。

１　その沢にかきつばたいとおもしろく咲きたり。（伊勢物語）

　　　意味（　　　　　　　　）　活用形（　　　　　　　　）

２　の春を迎へて、家をで世をけり。（方丈記）

　　　意味（　　　　　　　　）　活用形（　　　　　　　　）

３　「われ、物握りたり。いまは下ろしてよ」（竹取物語）

　　　意味（　　　　　　　　）　活用形（　　　　　　　　）

４　道知れる人もなくて、惑ひ行きけり。（伊勢物語）

　　　意味（　　　　　　　　）　活用形（　　　　　　　　）

【探究】

問６　『方丈記』において、鴨長明は、過ぎた欲を持たず、身の丈に合った暮らしがよいという価値観を述べている。このことについて、あなたはどう思うか。

ア　同じように思う。

イ　そうは思わない。

ウ　どちらとも言えない。

（理由　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

【解答】

【本文チェック】

①　ア＝ワ行上一段・連用　イ＝ハ行四段・已然（命令）

　ウ＝ク・終止　　　　　エ＝ク・連体

オ＝ラ行下二段・連体　カ＝サ行変格・終止

②　Ａ＝過去・連体　Ｂ＝打消・終止　Ｃ＝断定・終止

③　思っ（てい）たのだが

問１　１＝いつとせ　２＝いおり

問２　１＝自然と　　　　　２＝高貴だ　３＝数多く

　　　４＝取るに足りない　５＝穏やかだ・何事もない

問３　１＝エ　２＝イ

問４　（たり）　たら｜たり｜たり｜たる｜たれ｜たれ　意味＝完了・存続

　　　（り）　　ら｜り｜り｜る｜れ｜れ　　　　　　　意味＝完了・存続

問５　１＝存続・終止形　２＝完了・終止形

　　　３＝完了・終止形　４＝存続・連体形

問６　（例）ア　モノがあふれ、ゴミが社会的問題になっている現代においては、現代的な価値観を見直してみる必要性を感じるから。

　　観点　「循環型社会」などの現代社会の諸問題に関するキーワードや、「」の流行などを思い起こすのもヒントになる。

【現代語訳】

問３　１　ほんの少しの間退出しているうち、二日ほどたってよりにもよって雪が降るではないか。

　　　２　帰る場所といっても、その所と行き着くことのできる馴染みのある場所もないし、知人として頼める（ような）頼りになる人も思い出せない。

問５　１　その沢にかきつばたがたいへん美しく咲いている。

　　　２　五十歳の春を迎えて、出家して俗世を捨てた。

　　　３　「私は、物を握った。もう下ろしてくれ」

　　　４　道を知っている人もいなくて、戸惑いながら行った。